

市電のふるさと



NEWS

路面電車活用計画

- topics 1** 市電沿線の清掃活動 p2
- topics 2** 「雪ミク電車2012」を運行 p3-4
- topics 3** ウインターフレンズトレインの運行 p4
- topics 4** 2011市電フェスティバル p5
- topics 5** ミッション&スタンプラリー p6

市電沿線の清掃活動



全国34カ所で行っているボランティア清掃活動を行っているNPO法人グリーンボードとの協働で、当会賛助会員11人のボランティアとともに平成23年7月2日(土)、市電沿線の清掃活動を実施しました。これは6月10日の路面電車の日にちなんだイベントで、日ごろ市民の足となっている市電への愛着心と感謝の気持ちをこめた活動です。

札幌のさわやかな夏の日差しのもと、電車の走る音に心地よさを感じつつ、沿線や軌道をきれいにすることができ、参加した賛助会員の方にも気持ちよく活動していただきました。

この活動は今後も継続したいと考えています。



NEWS
路面電車活用計画
～ループ化～



「ループ化」整備概要



イメージ図



「新型低床車両」イメージ図



新型車両は低床車で、大きい窓からはまちの風景や賑わいが楽しめます。平成24年度に1両購入し、平成25年度に試験運行後、本格運行開始。平成26年に更に2両導入し、ループ化の実現までに計3両の導入を計画しています。

札幌にしかないデザイン性に優れた車両の走る街並みが多くの人をひきつけ、都心に創られる新しい風景が札幌の新たな魅力となることでしょう。

目指すまちの姿には、電停をまちの情報発信場所にする事、沿道はオープンカフェやショップといった魅力的な空間にすることで、バリアフリーで歩道から直接乗降できることが盛り込まれ、路面電車を札幌のまちづくりに最大限に活かす取組となっています。

また、新たに整備される札幌駅前通では、歩道側を走行する整備を行うとともに、狸小路付近に新しい停留場が設けられることになっています。

- ① 札幌の新たな魅力 (都市空間) の創出
- ② まち歩きを気軽に楽しむ、交流空間の創出
- ③ すべての人にやさしいまち (場所) の実現

目指すまちの姿には、電停をまちの情報発信場所にする事、沿道はオープンカフェやショップといった魅力的な空間にすることで、バリアフリーで歩道から直接乗降できることが盛り込まれ、路面電車を札幌のまちづくりに最大限に活かす取組となっています。

また、新たに整備される札幌駅前通では、歩道側を走行する整備を行うとともに、狸小路付近に新しい停留場が設けられることになっています。

札幌市では、平成22年3月に「札幌市路面電車活用方針」が策定され、路線延伸の検討を進める方針が示されました。そして、平成24年4月には路線のループ化、新型低床車両の導入等の取組が明らかに示されました。

西4丁目とすすきの停留場をつなぎ、路線を結ぶ環状化により、次のような目指すまちの姿があります。

topics 3

ウィンターフレンズ
トレインの運行



札幌の魅力ある路面電車を活用して、観光や商業、芸術文化などの魅力アップと活性化に貢献することを目的に、平成24年2月6日(月)～3月2日(金)にウィンターフレンズトレイン「冬の動物装飾電車」が運行されました。吉中新一郎市電の会会長が会長を務める「路面電車沿線活性化協議会」が例年実施しているイルミネーション電車の代替として運行したものです。

札幌市立大学美術部の協力で、路面電車の車内にかわいらしい動物の切り絵などを飾り、幻想的な雰囲気を作り上げられ、利用者はもちろんのこと、市民や観光客の目を楽しませました。

12月18日内覧会の様子



ここで市電クイズです!

- ① 現在、市内を走るラッピング電車は何台あるでしょう。(平成24年6月1日現在)
- ② ラッピング電車の1年間の広告費はいくらでしょう?

答えは、会報誌の最終ページにあります。

は、学生ボランティアに加え、当会の賛助会員延べ16人のボランティアの協力があり、大変寒い中ではありましたが和気あいあいと楽しみながら作業をしていただきました。

なお、冬期間の電車の乗車人員も前年比増となっており、この装飾電車と12月から3月まで運行した雪ミク電車が一役買っていたのではないのでしょうか。



topics 2

「雪ミク電車2012」を運行



ラッピング完了!



雪ミク電車 2012

藻岩山のキャラクター「もーりす」及び雪ミクをモチーフにしたフルラッピング。



前年度の雪ミク電車(ハーフラッピング)



市電の会では、市電と沿線が市民や観光客に親しまれるよう、「市電と沿線の魅力掘り起こし事業」を平成18年度から札幌市中央区との協働により行っています。

平成23年度は平成23年12月19日(月)～24年3月30日(金)まで「雪ミク電車2012」を運行しました。

これは広く市電への愛着や関心を高めるとともに、市電への乗車促進を図ることを目的に、市電沿線の企業であり、「初音ミク」を開発した「クリプトン・フューチャー・メディア株式会社」、当会、札幌市交通局が連携し、「初音ミク」の冬バージョンである「雪ミク」をデザインした電車を走らせるもので、平成22年度に引き続き運行いたしました。

今回の雪ミク電車は、市電沿線にある藻岩山ロープウェイ施設が平成23年12月23日(金)にリニューアルオープンしたことから、その魅力発信を兼ねたもので、雪ミク以外に藻岩山キャラクターである「もーりす」が登場するなど、応援電車としても活躍しました。

一昨年とは装いを変え、フルラッピングした「雪ミク電車」は3月30日(金)、今期の運行を終了しました。最終便では、名残惜しくカメラに収めようとファンの走る姿も見られました。



抽選時には長蛇の列が…



ラリー用紙



何が見えるのかな？

topics 5

ミッション&
スタンプラリー



スタンプ台に並ぶ参加者



市電フェスティバルにて、札幌市交通事業振興公社との共催により「ミッション&スタンプラリー」を行いました。4つのミッションに挑戦し、全てクリアできたら抽選で「多機能デジバック」「カメラ型ブックマークルーペ」など豪華景品が当たるお楽しみスタンプラリー。市電の秘密を探りながら楽しむことができ、市電沿線の魅力や愛着を一層深めてもらうことができました。

このスタンプラリーは好評で、用意した1,000枚のラリー用紙は、あっという間になくなりました。参加者の多くは小学生の子どもたちでしたが、ご家族と一緒にミッションに取り組んでいただき、抽選の列は長蛇となり人気の高さがかがえしました。

topics 4

2011市電フェスティバル

ミニてつくん



第二会場入り口



架線修理車体験試乗



市電と綱引き



市電の会ブース



車体洗車体験乗車



にぎわう会場内



平成23年8月28日(日)、電車事業所及び隣接する市立伏見小学校サブグラウンドを会場として、2011市電フェスティバルが行われました。

市電フェスティバルは、中央区・交通局・交通事業振興公社の主催、山鼻未来・ネットワーク協議会の共催により、市電に対する愛着を一層深めていただくとともに、市電沿線の区民のふるさと意識の高揚、地域の活性化を図ることを目的に開催されているものです。

朝から暑い日差しが会場一杯に降り注ぎ、約11,000人の方が来場。電車事業所では、運転台体験・車体洗車体験乗車、市電と綱引き、ササラ電車展示などが、伏見小サブグラウンドでは、例年人気のミニてつくん運行や吹奏楽、踊りや太鼓など地域の方によるステージイベントのほか、山鼻未来・ネットワーク協議会による露店や縁日などもあり、来場された多くの皆様が、市電との交流、そして残り少ない夏のひとときを楽しみました。

市電の会も協力という形で参加。賛助会員の中から21人の方々のご協力をいただきながら、市電の会賛助会員募集のほか、賛助会員である水彩画作家の鈴木周作さんの絵画展、「ミッション&スタンプラリー」などを行い、お陰さまで行列ができるほどたくさんのご家族連れにご好評をいただくことができました。今年は8月26日(日)に開催されます。

お知らせ1 「市電の会」賛助会員募集

市電の会では賛助会員を募集しています。市電の好きな方ならどなたでも入会できます。年会費は、個人1,000円、団体10,000円です。会員になられた方には、会員バッジ（新規会員のみ）、特製ウィズユーカード「さっぽろ市電歴史シリーズ」（500円）及び会報「市電のふるさと」を差し上げるほか、当会のイベント情報を随時お知らせします。

入会をご希望の方は、中央区役所や区内の各まちづくりセンターでお渡しする入会申込書に会費を添えてお申してください。また、郵便局からの振込もご利用いただけます。（振込手数料はかかりません。希望される場合は、下記までご連絡ください。「払込取扱票」を送付いたします。）

さらに、インターネットによる受付も行っています。詳しくは、中央区ホームページの「市電倶楽部」をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせ

市電の会事務局

〒060-8612 札幌市中央区南3条西11丁目 中央保健センター6階
札幌市中央区役所地域振興課内（まちづくり調整担当）
TEL(011)231-2400内線253 FAX(011)511-7234
URL <http://www.city.sapporo.jp/chuo/shiden/index.html>
E-Mail ch.shidennokai@city.sapporo.jp

お知らせ2 中央区の絵はがき まちの彩 発売

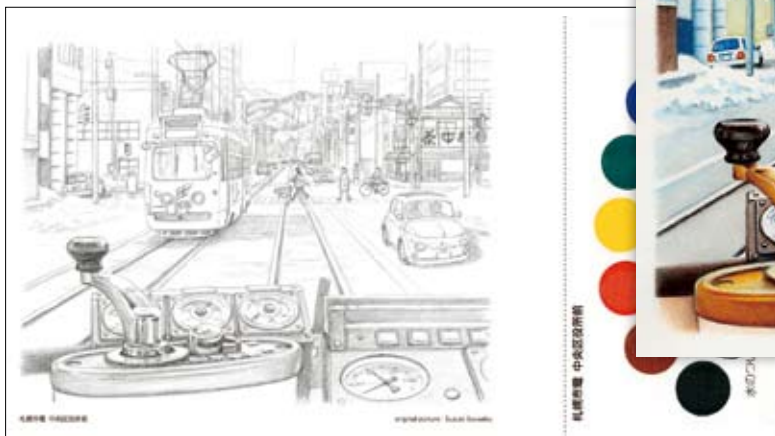
市電が走る街角の風景など中央区の各地域の風景を題材とした、ぬり絵はがきが発売されました。

当会賛助会員である水彩色鉛筆画家の鈴木周作氏によるイラストで、水彩絵の具、パレット、はがきの3つが一体となった絵はがきで、印刷されている下絵に水筆を使って手軽に楽しく彩色することができます。

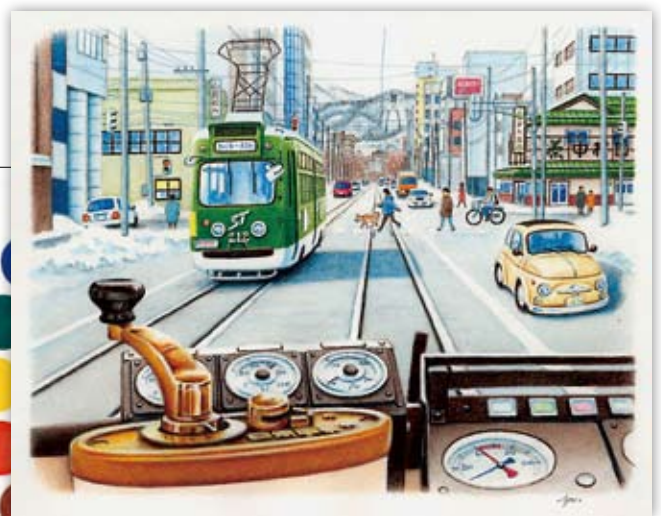
自分の手で着色することから、地域への愛着も湧き、四季折々の情景を表現することができます。ちょっとしたプレゼントにもおしゃれな一枚ですね。

●お問い合わせ先

福島プリント株式会社
住所／札幌市中央区南9条西16丁目1-23
電話／011-561-3737



絵はがき裏面（ぬり絵）



中央区役所前（原画）